

# 第2学年外国語科学習指導案

平成28年11月19日(土)

第4限 2年B組 (武道場)

指導者 教諭 二宮 健吾

## 1. 単元名 自分の夢についての会話を英語で続けよう (Lesson 6 My Dream)

## 2. 単元の目標

(1) 新出文法や既習文法を利用し、自分の考えや夢について英語で表現し、会話ができる。

【外国語表現の能力】

(2) 会話活動やライティング活動において、既習事項を積極的に使って、英語で表現しようとする。

【コミュニケーション活動への関心・意欲・態度】

(3) 様々な活動を通して、不定詞の各種用法についての知識を身に付けている。

【言語や文化についての知識・理解】

## 3. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
会話活動やライティング活動において、既習事項を積極的に使って、英語で表現しようとする。	新出文法や既習文法を利用し、自分の考えや夢について英語で表現し、会話ができる。		様々な活動を通して、不定詞の各種用法についての知識を身に付けている。

## 4. 単元設定の理由

本単元は、職場体験活動を通して中学生の健が自分の夢について仲間と語る内容や、学級の前でスピーチをするという内容から成る。昨年度、第一年次の総合的な学習の時間を通して、職場体験活動を計画、経験することにより様々な職業について深く知ったり、自分の将来の夢について考えたりする機会を持ってきた本学年の学習者にとって、非常に馴染みやすい内容である。また、来年に高校入試を控え、自分の進路について考える時期が迫ってきており、自分の将来の夢について考える非常によい機会であると思われる。

言語材料としては、不定詞を学習する。to+動詞の原型という同じ形でありながら、3種類の用法を持つという意味では理解が難しいものであると考えられるが、名詞的用法を用いて自分の希望を伝えたり、副詞的用法や形容詞的用法を用いて今まで二つの文で表現していた英文を一つの文で表現できるなど、生徒の日常生活での会話の幅を大きく広げたり、相手により分かり易く自分の意見を伝えたり、コミュニケーション能力の向上に大いに役立つものと思われる。

男子20名、女子の20名の計40名で構成された本学級2年B組は、男女ともに自分の気持ちを全体場で表現することが苦手な生徒が多く、音読の活動に積極的に取り組むものの、あまり大きな声で音読ができていないのが現状である。しかし、平成28年度実施の大分県学力定着状況調査の結果を見ると、本学級の生徒は英語の授業に対して87%が好きと回答し、88%が英語の授業を分かっていると回答しており、英語の授業に対して積極的かつ主体的に取り組むことができる。学級内には、英語検定準2級を取得している生徒が数名いる一方で、中学2年生の英語の学習に対して苦手と感じている生徒もおり、そのような実態を考慮してペア活動や班活動で教え合う活動を多く取り入れている。また、アンケートの結果によると、4技能の中で「聞くこと」を苦手と感じる生徒が最も多く、「話すこと」が一番できるようになりたいと回答している。

指導にあたっては、本文の学習を通して職場体験や自分の将来の夢について考えさせるとともに、不定詞の三つの用法を理解し、それを使用することで自分の考えを仲間に伝える表現力の育成を目指す。

また、以下4点を特に意識して本単元の目標達成を図る。

(1) 4R

仲間の発言に対する反応や英語らしい返しなどを意識することで、自分の意見を表現しやすい雰囲気をつくることができる。また、4Rを意識することで、本単元の目標である既習事項を積極的に使って、英語で表現しようとするのが達成できると考えられる。

(2) 英語係

授業の中で生徒の興味関心を高める目的で、各種回収作業や授業連絡だけでなく、不定詞の文法導入や本文導入など様々な場面において、英語係と教師が共同で授業をつくっていく。

(3) ICTの積極的な活用

短時間でターゲットとなる不定詞の文法や本文を音読暗唱させるための反復練習などの際にICTを積極的に活用する。

(4) 1時間完結型授業の充実に向けて

めあての提示とそれに対する振り返りを意識付けさせるために、EXIT PAPER という振り返り用紙を利用する。

## 5. 単元の指導計画と評価計画（総時間10時間）

時間	ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○不定詞の名詞的用法を理解する。 ○修学旅行でしたいことを英語で表現する。	エ	ワークシート
2	○不定詞の形容詞的・副詞的用法を理解する	エ	観察
1	○GET2の内容を理解し、同時通訳をする。	エ	観察
1	○READの内容を聞き、英語で書き取る。 ○不定詞の文について、日本語に訳す。	ア	ワークシート
3	○英語で自分の将来の夢について書く。 ○夢について、仲間と英語で会話を続ける。	ア	観察 ワークシート
1 (本時)	○電話に関する内容を理解し、ペアで再生する。 ○電話のスキットを作り、発表する。	イ	観察 ワークシート
1	○留守番電話の内容を聞いて理解する。 ○LESSON6の語彙テストを受ける。	エ	観察 ワークシート

## 6. 本時案

(1) 題目 電話のスキットをつくり、発表しよう。

(2) ねらい 不定詞の用法を理解し、「依頼」の英文を含む電話のスキットを作って発表する活動を通して、生徒が自分の考えを英語で表現し、電話での会話をできるようにする。

(3) 展開

学習活動	教師の指導・支援	時間 (分)	備考
1 あいさつと会話をする。	・笑顔になるような雰囲気作りをする。	1	
2 数に関するゲームをする。	・1から15までの数に関するゲームの中で <b>th</b> の発音にこだわらせる。	4	プロジェクター (以下 PJ)
3 単語当てクイズをする。	・英語のヒントを基に答えを当てさせる。	5	
4 単語練習をする。	・帯活動の単語読み練習をさせる。	2	ワークシート
5 1分間英語で会話し、レポートする。	・将来の夢について1分間会話した後、違うペアにその内容を伝える。	2	
6 新出表現の練習をする。	・「依頼」の表現を練習する。	4	PJ
7 教科書の本文を暗唱する。			
(1) 新出単語を練習する。	・様々なパターンで練習させる。	1	フラッシュカード
(2) 本文の内容を理解する。	・仲間のロールプレイを見て理解させる。	2	PJ
(3) 本文を音読する。	・理解すべきポイントを見る前に伝える。	4	PJ
(4) 本文をペアで練習する。	・ペアで協力して、音読練習をさせる。	2	ワークシート
(5) 本文を暗唱する。	・音読のまとめとして、暗唱させる。	1	
<b>電話のスキットをペアでつくって発表しよう。</b>			
8 電話のスキットを発表する			
(1) 電話の会話文をつくる。	・ペアで協力してつくる。 ・例を提示して、参考にさせる。 ・班内のペア同士で発表させる。	15	*イ ワークシート PJ
(2) スキットを発表する。		5	
9 振り返りをする。	・「依頼」の日本語文を英語で書かせる。 ・本時の振り返りをさせる。	2	評価シート

## 7. 学習指導観察の視点

(1) 本時のねらい（不定詞の用法を理解し、「依頼」の英文を含む電話のスキットを作って発表する活動を通して、生徒が自分の考えを英語で表現し、電話での会話をできるようにする。）に対する授業の展開は適切であったか。